

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	68 特別支援教育充実事業	会計	01	一般会計
基本	31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
策		項	01	教育総務費
		目	03	義務教育振興費
細目	3 特別支援教育の充実	細目	102	児童生徒指導経費
細々目		21	特別支援教育充実事業	
基本計画該当頁		126		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 450300	評価者氏名	加納圭子	連絡先 22 - 9676 (内線) 3820
名称	教育部 学校教育課			

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
LD、ADHD、高機能自閉症を含めた障がいのある市内0歳から中学3年生までの子ども (対象件数)	個々にあった教育を受けることができる。
根拠法令・要綱等	
開始年度 平成 19 年度	関連事業
終了年度 平成 年度	
本年度事業内容	状況変化等
就学前から子どもたちの状況を把握することで、LD、ADHD、高機能自閉症を含めた障がいのある子どもたち一人ひとりが求めている教育が実現する。 1. 保育所(園)、幼稚園、小中学校において発達相談員による巡回相談・教育相談の実施 2. 「個別の支援計画」の作成 3. 特別支援教育専門家チーム会議、ケース会議、研修会等の開催 4. 特別支援学級介助員・特別支援教育支援員の配置	一人ひとりのニーズに応じた支援の必要性が増加する中で、適切な支援ができるよう個々の状況を把握し、全体体制で取り組みます。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業種別	新規	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
巡回・教育相談実施回数	回	目標 実績 68	目標 実績 96	150	200
介助員・特別支援教育支援員配置数	人	目標 実績 24	目標 実績 34	31	35

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
巡回・教育相談件数	個々の状況を把握し、そのニーズにあった適切な支援ができることを目標にします。	件	目標 実績 -	目標 実績 -	150	200

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	特別支援教育の実施にともない、個別に行き届いた教育の実現が急務です。
有効性	4	個別の支援プログラムを作成し、個々に支援をすることで、個々のニーズにあった指導が充実します。
達成度		
効率性	4	発達相談員から専門的な知識を生かした助言を得ることで、支援を必要とする子どもたちが他の仲間とともに育っていくという視点からの「仲間づくり」や「学級集団づくり」が進められます。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A		

年度	事業内容	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容							
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額			
進捗状況	委託							介助員賃金・共済費	29	人	49,879	介助員賃金・共済費	29	人	49,879	介助員賃金・共済費	29	人	49,879	介助員賃金・共済費	29	人	49,879	
	工事							特別支援員賃金	2	人	2,561	特別支援員賃金	5	人	6,885	特別支援員賃金	10	人	13,770	特別支援員賃金	15	人	20,655	
								報償費			800	報償費			1,260	報償費			1,260	報償費			1,260	
								介助員旅費			10	介助員旅費			10	介助員旅費			10	介助員旅費			10	
								需用費			3	需用費			3	需用費			3	需用費			3	
								負担金(特別支援交流事業補助)			100	負担金(特別支援交流事業補助)			100	負担金(特別支援交流事業補助)			100	負担金(特別支援交流事業補助)			100	
進捗率(%)								事業費計(A)			0	事業費計(A)			0	事業費計(A)			53,353	事業費計(A)			58,137	
事業投入人員	人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600
フルコスト(A)+(B)				0				0			56,953				61,737			68,622				75,507		

事業費(人件費除)の財源内訳

(A) 事業費	0	0	53,353	58,137	65,022	71,907
Aの財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	0	0	53,353	58,137	71,907
	計	0	0	53,353	58,137	71,907
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等			教育振興一般経費より介助員賃金、発達相談員謝礼等組み替え。 報償費は、就学指導・診断委員、発達相談員の謝礼。	県の示達事業終了により発達相談員の謝礼増額。	